

「地域の自然環境を保全し、蘇らせるために」 - 東北の事例から考える -

期日：平成 15 年 11 月 20 日（木）13:00～17:00 現地見学会

平成 15 年 11 月 21 日（金）10:00～16:00 ワークショップ

場所：東北大学工学部青葉記念会館および仙台市周辺（蒲生干潟などを現地見学）

主催：応用生態工学会

共催：東北大学

後援：東北地方整備局、環境省、宮城県、仙台市、宮城県環境アセスメント協会（予定）

開催趣旨：

全国で自然再生型公共事業がスタートしていますが、端緒についたばかりで効果の評価軸も明確でなく、地域ごとにどのように再生の目標を定めていくかも模索中と思われます。東北は、日本の中でもまだ自然豊かな地域というイメージがあり、自然再生推進法に基づく事業の例は多くはありません。再生よりも保全の方が重要ではないかという意見も聞きます。しかし、これまでも多自然型川づくりのような自然を蘇らせる事業や、開発事業におけるミチゲーションの取り組みも多く行われてきました。ある意味自然再生への取り組みはすでに始まっているとも言えます。それらの成果や失敗例から学び、地域の特性を踏まえてより良い計画・実施・評価手法を模索することは、自然を守り、蘇らせる上で非常に重要なことと考えられます。そのためには継続して議論をできる場を設け、いろいろな事例を持ち寄り、実践につなげていく必要があります。これは応用生態工学会が当初から目指しているところであり、順応的管理においてポイントとなる部分です。

今回、仙台基礎講座(2000年度)に続くワークショップを企画しましたが、まず基調講演として東京大学教授・鷺谷いづみ先生をお招きし、自然再生に関する基本的な考え方などについてお話いただきます。続いて大学関係者だけでなく、民間研究者、行政関係者などバラエティーに富んだ方々に講演をいただく予定です。さまざまな立場・分野・フィールドでの取り組み事例・成果が聞けると期待しています。自然再生は地域づくりでもあり、人や立場により捉え方はさまざまですので、最後には会場も交えた討論を行い、東北では今後自然の保全・再生あるいはミチゲーションについてどのように考えたらよいかについて議論を深めたいと思っています。ぜひ多数の参加をお願いします。

ワークショップと合わせて、現地見学会も実施します。自然豊かなイメージの東北のフィールドが、実際にはどういう状況にあるかななどを垣間見ることができると考えています。どうかご期待ください。

プログラム：

平成 15 年 11 月 20 日（木）（12:30 仙台駅西口集合）
13:00～17:00 現地見学会（蒲生干潟、井土浦干潟、旧笹川）
18:00～20:00 交流会（ホテルJALシティ仙台）

平成 15 年 11 月 21 日（金）10:00～16:00 ワークショップ

9:30 受付開始

10:00-10:10 挨拶・趣旨説明・案内

10:10-11:00 基調講演 「自然再生の課題と展望」

東京大学教授 鷺谷いづみ

11:10-11:30 講演 2 「酸性河川赤川の生物相とその形成に係わる因子」

岩手大学 佐々木貴史

11:30-11:50 講演 3 「干潟の再生における生態工学的課題」

東北大学教授 西村修

11:50-12:10 講演 4 「雄物川におけるトゲウオ科魚類保全の取り組み」 国土交通省湯沢河川国道事務所 堤達也

13:00-13:20 講演 5 「甲子エコロードにおける動植物への配慮」

国土交通省郡山国道事務所 阿部勝

13:20-13:40 講演 6 「ほ場整備事業と天然記念物「赤井谷地」の自然再生」

岩手大学助教授 竹原明秀

13:50-14:10 講演 7 「伊豆沼・内沼国指定鳥獣保護区等における生物多様性の回復」

環境省東北地区自然保護事務所所長 西宮洋

14:10-14:30 講演 8 「蕪栗沼(宮城県)における湿地復元と冬期湛水水田を用いた農業と水鳥の共存をめざした取り組み」

日本雁を保護する会会長 呉地正行

14:40-16:00 討論 座長：東北大学教授 大村達夫

定員：150名（定員になり次第締め切ります）

参加申し込み方法・参加料
裏面をご参照ください

申し込み期限

2003年11月10日(月)

【参加料】

現地見学会 一般 2,000 円、学生：1,000 円
 ワークショップ 正・賛助会員：2,000 円、非会員：2,500 円、学生：1,000 円
 交流会参加料 一律 5,000 円程度（交流会参加料は現地で頂きます）

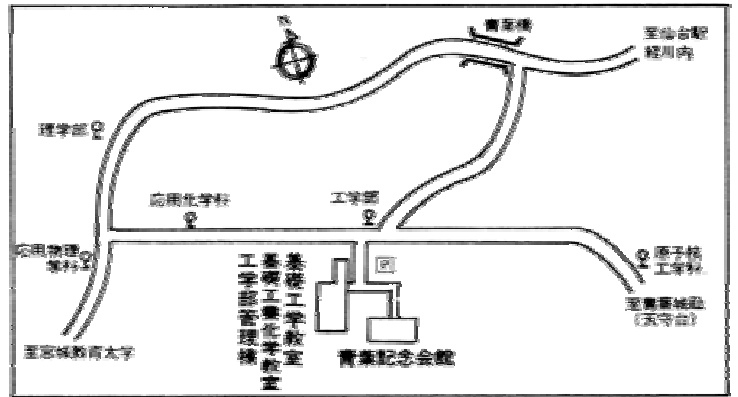
【参加申し込み】

添付申込用紙に記入の上ファックス下さい。
 同等内容の E メールでも受け付けます。
 締め切りは 2003 年 11 月 10 日(月)です。

【ワークショップ会場と交通】

会 場：東北大学工学部青葉記念会館
 所在地：仙台市青葉区荒巻字青葉
 TEL：022-217-7993
 交通：JR 仙台駅西口バスプール 9 番のりばより、以下の路線の市バスに乗車、「工学部前」で下車徒歩 1 分（駅からの所用時間 15～20 分）
 「青葉城址循環（工学部経由）(W7-1)」、「工学部経由宮教大行(W8-2)」、「工学部経由青葉台行(W8-3)」

【会場地図】



【交流会会場】

会 場：ホテル JAL シティ仙台（JR 仙台駅西口より徒歩 5 分）青葉区花京院 1-2-12
 TEL：022-711-2580

【ホテル案内】

ホテル等の手配は、各自でお願いします。

【参加料振込先】

郵便局 口座名称：応用生態工学会 口座番号：00140-7-404275	銀行口座 銀行名：東京三菱銀行麹町支店 口座名義：応用生態工学会代表西浩司 (株式会社イコウカケイダ 化ヨリシヨウ) 口座番号：(普通) 1302920
--	--

【申し込み及び問い合わせ先】

応用生態工学会事務局 〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-5 第 7 麹町ビル 25 号室
 TEL：03-5216-8401 FAX：03-5216-8520 E-mail：see@blue.ocn.ne.jp URL：<http://www.ecesj.com>

参加申込書 (FAX 宛先：03-5216-8520 / 応用生態工学会事務局)

下記の通り参加申込みいたします。

申込み月日： 年 月 日

氏 名	(専門分野：)		正・学生会員 No.	
所 属			賛助会員 No.	
連絡先	自宅 所属 (いずれかに) 〒 住所： Tel. Fax. E-mail：			
【参加申込み事項】			参加料 (いずれかにチェック)	
. 現地見学会	[11 月 20 日 (木) 13:00～17:00]	参加・不参加	一般；2,000 円 学生；1,000 円	
. 交流会	[11 月 20 日 (木) 18:00～20:00]	参加・不参加	(一律) 5,000 円程度	
. ワークショップ	[11 月 21 日 (金) 10:00～16:00]	参加・不参加	正・賛助会員；2,000 円 非会員；2,500 円 学生；1,000 円	
合計参加料 (交流会参加料以外)			円	
[申し入れ事項]	貴機関の経理上請求書等が必要、又事前振り込みが無理な場合等がありましたら御記入下さい。			

* 参加料は 11 月 15 日までに指定口座にお振込下さい。交流会参加料は会場にていただきます。